

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(_ は上方に変更、 _ は下方に変更)

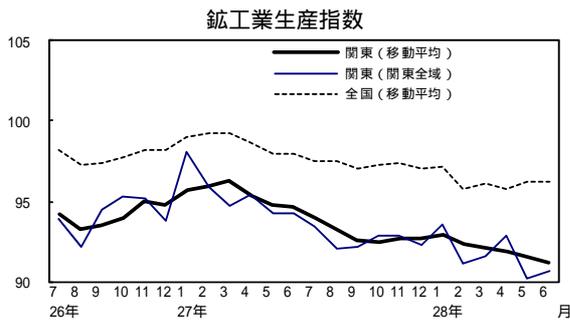
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 5 月)	今回 (平成 28 年 8 月)	
住宅建設	横ばい	増加	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は弱含んでいる。(関東全域)

輸送機械は国内向け、海外向けともに自動車用エンジンや機関部品等を中心に増加した。電気機械はセパレート型エアコン等を中心に減少した。情報通信機械はデジタル伝送装置やデスクトップ型パソコン等を中心に減少した。生産用機械は海外向けの半導体製造装置やマシンングセンタ等を中心に減少した。



- (備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。
2. 全国及び関東の大線は後方3か月移動平均。

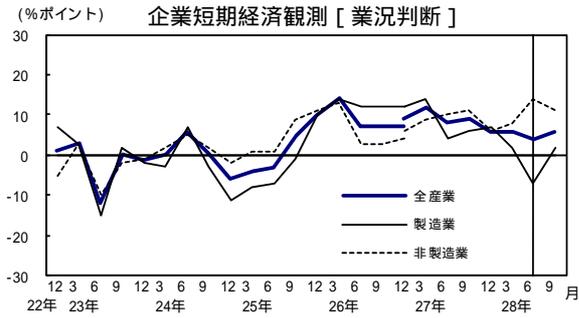
域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1~3 月期	4~6 月期	4月	5月	6月
輸送機械	18.6	0.5	0.5	6.8	3.4	1.0
化学	15.1	0.2	-	0.3	8.2	-
電気機械	9.3	1.8	1.0	2.1	3.4	2.1
情報通信機械	6.2	5.2	3.2	7.6	23.0	12.1
生産用機械	6.1	0.8	0.9	1.2	0.4	4.9
鉱工業	100.0	0.6	1.0	1.3	2.8	0.4

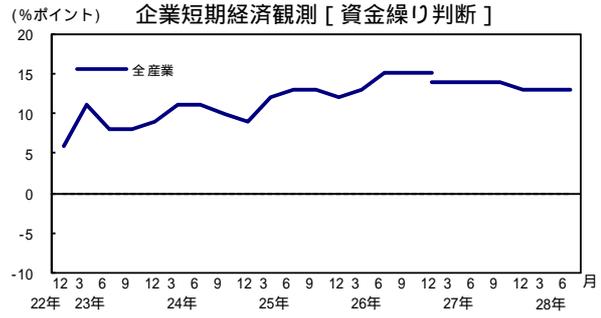
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 4~6月期、6月は速報値。化学は速報値では公表されていない。

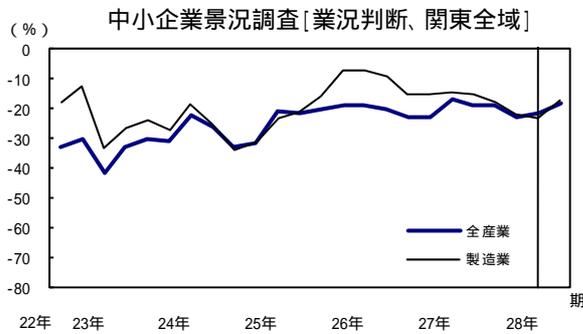
(2) 業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年9月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。

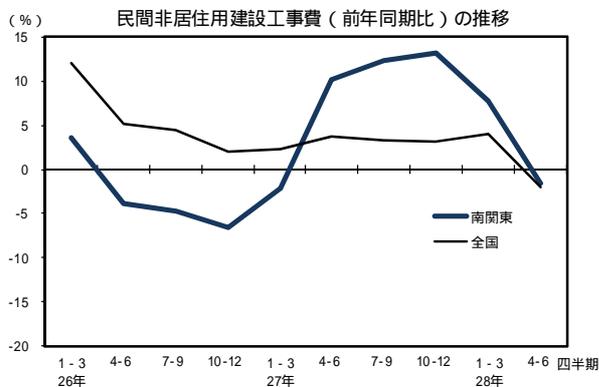


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「今のところ順調に受注している。先の計画もあるため、安心している(建設業)」等の回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は概ね前期と同水準。



企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

	(前年度比、%)	
	27年度実績	28年度計画
全産業	4.0 (4.6)	22.5
製造業	5.5 (6.4)	33.0
非製造業	2.0 (1.6)	7.4

(備考)()は前回(3月)調査比修正率。
日本銀行横浜支店管内。

(4) 南関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比1.5%減、5月は同0.9%減、6月は同0.7%増となった。

百貨店・スーパー販売額

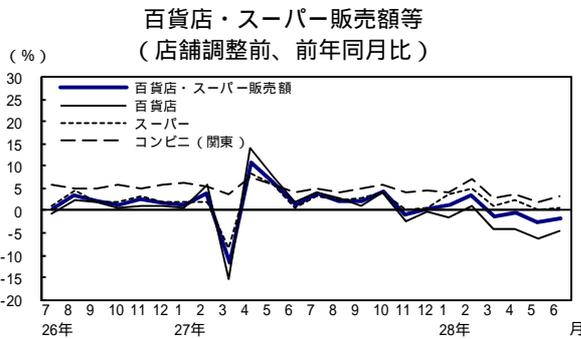
百貨店は、4月は春物・夏物の衣料品や身の回り品、家庭用品の動き等が鈍かったこと等から、前年を下回った。5月も衣料品、身の回り品、家庭用品の動きが不調だったこと等から、前年を下回った。6月も衣料品、身の回り品、家庭用品の動きが不調だったこと等から、前年を下回った。

スーパーは、飲食料品や化粧品等のその他商品等が好調だったこと等から、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

南関東地域の家計動向関連DIは、42.1となり前月より4.2ポイント上昇した。

「前年に比べて梅雨が長かったためか、月半ばまでは人の動きもぱっとせず、タクシー利用も少なかった。梅雨明けした途端に、深夜の街に人がどっと繰り出し、一気にそれ以前の景気の悪さを押しよけている (タクシー運転手)」等「やや良くなっている」とする回答が増加した。

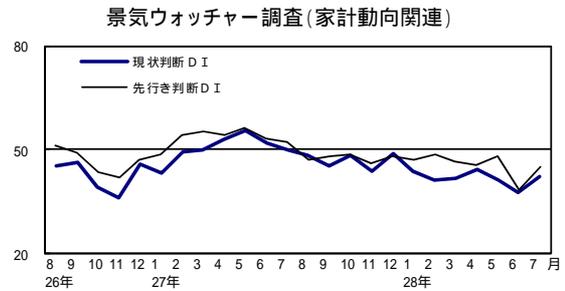
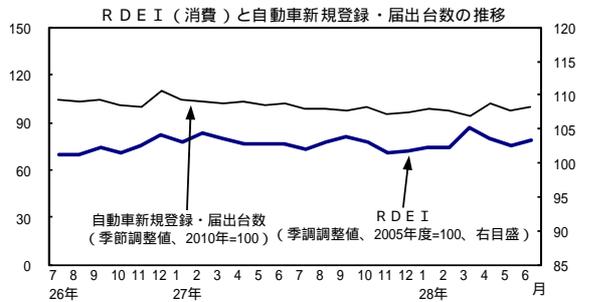


	28年4-6月	28年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	0.1	1.5	0.9	0.7
百貨店・スーパー(*2)	1.6	0.5	2.6	1.8
百貨店(*2)	4.9	4.1	6.1	4.5
スーパー(*2)	1.0	2.5	0.2	0.5
コンビニ(*2)	2.9	3.6	1.8	3.3
乗用車(*3)	1.6	0.2	2.7	2.0
(季節調整値)(*3)	2.9	7.9	4.0	2.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)、コンビニは関東全域

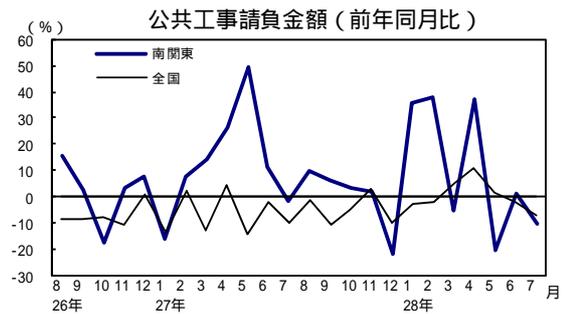
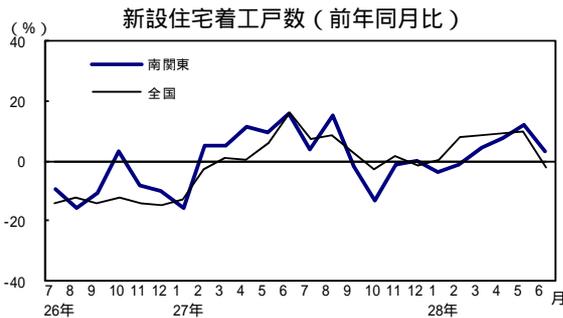
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))



(2) 住宅建設は増加している。

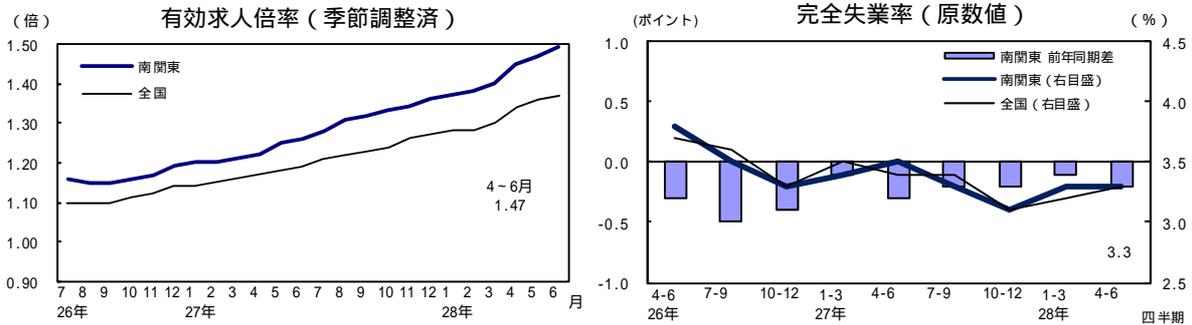
貸家が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。

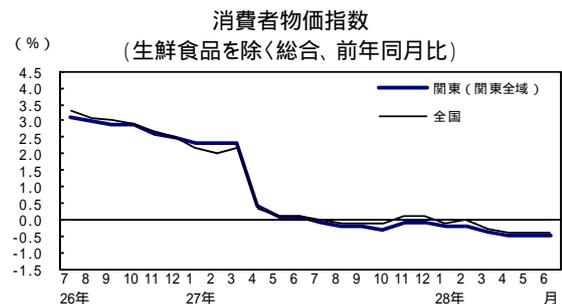


景気ウォッチャー調査（7月調査結果）[雇用関連（現状）]
「新作スマートフォン向けゲームが社会現象になっている。この効果により、関連市場の動向が伸びている（学校〔大学〕）」等の回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。
(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅は拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年7-9月	10-12月	28年1-3月	4-6月	28年7月
倒産件数	674	773	693	677	241
(前年比)	19.6	14.3	0.6	9.5	10.1
負債総額	2,721	4,220	1,464	984	416
(前年比)	110.6	118.7	29.5	32.0	9.3



景気ウォッチャー調査（7月調査結果）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

- ・募集ものの海外旅行の申込が、予想より多く集客できている（旅行代理店）

<先行き>

- ・今月の新規求人数は、前年同月と比べて減少したものの、フルタイム求人を中心に企業の採用意欲は強く、引き続き求人増加が見込まれる（職業安定所）

